

総合地球環境学研究所 研究推進戦略センター 特任助教の公募について

1. 所属・職種及び人数

研究推進戦略センター・特任助教 1名

(3. に示す【職務A】若しくは【職務B】のいずれかに従事する者1名)

2. 任期:着任日から平成29年3月31日まで

※大学共同利用機関法人人間文化研究機構特定有期雇用職員規程及び総合地球環境学研究所特定有期雇用職員規則による。

3. 職務内容

【職務A】

- (1) 「大学間連携を通じた広域アジアにおける地球環境学リポジトリの構築ー自然と調和した社会構築を目指す新たな知の拠点形成事業ー」(注1)における情報検索システムの設計、構築及び運用体制の確立
- (2) 上記システムへ導入するデータの構築
- (3) 上記システムと連携する既存データの整理及び改修

【職務B】

- (1) 「大学間連携を通じた広域アジアにおける地球環境学リポジトリの構築ー自然と調和した社会構造を目指す新たな地の拠点形成事業ー」(注1)に関連する情報資源(データベース等)を用いた地球環境学の調査研究
 - (2) 上記情報資源に関する情報の収集と蓄積
 - (3) 上記情報資源に関連する研究活動間の調整(データ交換、研究上の助言など)と成果の統合
- 注1…当事業については別添資料を参照のこと。

なお、当研究所及び研究推進戦略センターの目的や役割については、ホームページ(<http://www.chikyu.ac.jp/>)を参照されたい。

4. 応募条件

【職務A】

- (1) 修士以上の学位又は技術士(情報工学部門)の資格を有すること
- (2) データベース及びネットワークについて十分な知識と経験を有すること
- (3) オントロジー技術及び自然言語処理について知識を有すること
- (4) 研究機関等がインターネット上で公開するデータベースの設計、構築及び運用に携わった経験があること
- (5) 複数の機関が参画する研究プロジェクトに参加した経験があれば望ましい

【職務B】

- (1) 博士の学位又はそれと同等以上の研究業績を有すること
- (2) データベースを用いた研究業績を有すること
- (3) 複数の機関が参画する学際研究プロジェクトに参加した経験を有すること

5. 着任時期日

平成25年3月16日 以降できるだけ早い時期

6. 応募期限

平成25年1月25日（金）午後5時（必着）

7. 労働条件

- ①給 与：年俸制（人間文化研究機構特定有期雇用職員規程に定めるところによる）
- ②勤務形態：始業8時30分、終業17時を基本とする裁量労働制
- ③休 日：土・日曜日、祝日、年末・年始（12月29日から1月3日まで）
- ④そ の 他：文部科学省共済組合、雇用保険に加入

8. 提出書類

- ①履歴書（A4判、写真貼付）
- ②研究業績リスト（共著による論文、刊行物等については、共著者等を全て記入してください。様式は任意）
- ③研究業績資料（主要な論文、刊行物等を5点程度提出してください。コピー可）
- ④職務内容に関するこれまでの研究等の経験と実績（上記の応募条件を満たすことも含めて記載してください。1500～2,000字程度、様式は任意）
- ⑤職務内容への抱負（1500～2,000字程度、様式は任意）
- ⑥応募者について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先（電話、Fax及びE-mailアドレス）

※上記の提出書類はA4判横書きとし、それぞれ別様式として各様に氏名を記入してください。なお、提出いただいた書類は原則返却しませんが、③の業績資料について特に返却の希望がある場合には、②業績リスト末尾にその旨明記していただければ返却いたします。

※応募書類は当該選考委員会の審査資料としてのみ使用するもので、他の使用は一切ございません。

9. 選考方法

提出書類により審査します。書類審査の結果により、必要に応じて平成25年1月下旬～2月上旬頃に面接を実施します。

なお、面接を実施した場合、旅費などは当方では準備いたしませんので、ご承知おきください。

10. 書類提出先

宛先：総合地球環境学研究所 所長 立本成文 宛

書類送付先：総合地球環境学研究所 管理部総務課人事係 宛

（〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4）

※封筒表面に必ず「CCPC特任助教（リポジトリ）応募書類」と朱書の上、簡易書留郵便にて送付してください。

11. 問い合わせ先

総合地球環境学研究所 人事委員会

電話：075-707-2100 [総合地球環境学研究所代表]

e-mail：jkubota[at]chikyu.ac.jp ※[at]を@に変えてください

（担当 窪田順平教授）

以上

事業の概要

事業名	大学間連携を通じた広域アジアにおける地球環境学リポジトリの構築 －自然と調和した社会構築を目指す新たな知の拠点形成事業－
事業概要	本事業では、共同利用・共同研究の拠点として、総合地球環境学研究所が保有する広域の研究情報と全国の国公立大学に蓄積されたそれぞれの地域に関する研究情報を双方向に利用できる基盤を整備する。特に、日本を含む広域アジアにおける人間と自然の相互作用に関わる研究情報を集積し、地域環境問題の解決に資するためのネットワーク型のリポジトリを構築して文理融合型の大学間連携・共同研究を推進し、地域と地球をつなぐ自然・文化融合型の新たな知を創造する。
事業実施主体	<コアセンター> 総合地球環境学研究所
事業計画期間	平成24年度～平成28年度（5年）
1. 事業の目的等	総合地球環境学研究所(以下、「本研究所」と)と国公立大学および海外の諸研究機関が保有する広域アジアにおける人間と自然の相互作用環に係る多様な地域環境の研究情報を分野の異なる研究者間で双方向利用が可能な学術基盤を整備し、新たな文理融合型の地球環境研究に関する大学間連携・共同研究を推進する。
2. 事業の取組内容	分野の異なる研究者ネットワークの構築、テーマに応じた情報の重点収集・解析を行うとともに、各機関に集積された情報のオントロジー技術による連携、時空間の基盤情報と他機関所蔵の既存データの所在情報を集積した情報ネットワークを構築し、共同利用・共同研究を推進する。
3. 事業の実現に向けた実施体制等	コアセンターである本研究所を中心に地球環境学リポジトリ構築とその共同利用等の運営が可能となるような連携体制を構築する。
4. 事業の効果等	環境・文化・歴史を統合した情報集積のみならず研究者の頭脳をも掘り起こし、共同研究の輪の広がりを生み出す素地を構成する。また、研究情報・成果の社会還元を通じ災害復興、環境保全、地域振興等に資するとともに、研究者の人材交流、教育利用や教材作成を通じた次世代人材育成、広域アジアを中心とした国際連携の強化、地域自治体等との連携促進など、多様な成果物・効果が期待される。

